

「ありがとう集会」での校長の話

早いもので、卒業まで14日になってしまいましたね。
もう、今日は、「ありがとう集会」です。



日頃、いろいろな場面で畠部小学校を引っ張っていってくれている6年生に、お世話になっている後輩たちが、「ありがとう」の気持ちを伝える大切な会です。1年生から5年生のみんなは、しっかりと気持ちを伝えれるように頑張りましょう。6年生の人たちは、しっかり見て楽しんでほしいと思います。

さて・・・「ありがとう集会」の「ありがとう」の反対語は、何という言葉か知っていますか。
答えは、「当たり前」です。

「ありがとう」は、「ありがたい」「めったにない」「当たり前でない」という意味から出来た言葉なので、「ありがとう」の反対語は、「当たり前」というわけです。

ここにいるうねべっこの中に

あなたのことと思い、あなたに親切に助けてくれたり、優しくしてくれたり、時には、注意してくれたりしてくれる人に感謝の気持ちを持たないで「当たり前」と思っている人はいませんか。

本当は、自分で、解決しなくてはいけないことを、助けてもらえることが当たり前と思っていると、感謝の気持ちも持てません。そればかりか、助けてくれないと文句を言っている人を見かけたりすると残念な気持ちになります。

畠部小学校の皆さんには、ちゃんと周りの人に感謝できる人であってほしいと思います。

また、感謝の気持ちを持つことで、脳内から幸せホルモンと呼ばれるセロトニン、集中力・意欲アップや幸福物質とも呼ばれるドーパミン、縛ホルモンと呼ばれるオキシトシン、免疫アップなど脳内麻薬とも言われるエンドロphinsが分泌されると言われています。科学的にも「ありがとう」と言うと幸せ「ハッピー」になれることが証明されているということです。

みなさん、

今日のありがとう集会の主役は、6年生です。

1年生から5年生の人たちは、お世話になった6年生のために、感謝の気持ち、ありがとうの気持ちをもってがんばってください。

思い出にすばらしい残る会にしましょう。以上です。